

コロナ禍を踏まえた見直し（案）の概要

政策		主な見直しの内容	ページ
1.人	(1)生涯を通じた健康づくり	自殺者の増加や高齢者フレイルの増加などが懸念されることへの対応強化	P 2
	(2)本人の暮らしを真ん中においた医療福祉の推進	感染症の拡大など突発的な事態発生時においても的確な医療・福祉サービスが提供できる体制の強化	P 3～ P 4
	(3)文化やスポーツを通じた元気な地域づくり	文化・スポーツ活動の重要性の再認識	P 6
	(4)子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり	コロナ禍の影響を受けている子どもたちへの対応	P 7
	(5)子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育	I C Tを活用した学びの充実および登校できない場合でも学び続けられる環境整備	P 10
	(6)誰もが働き、活躍できる柔軟で多様なライフコース	テレワーク等の働き方の変化に応じた施策展開 コロナ禍で大きな影響を受けた非正規雇用労働者への対応	P 11～ P 12
2.経済	(1)成長市場・分野を意識した産業創出・転換	社会・経済情勢の変化に対応した産業創出・転換への支援 大きな影響を受けた観光産業への支援と新しい観光ニーズへの対応	P 14
	(2)人材確保と経営の強化	中小企業等の事業継続に向けた支援強化	P 17
	(3)生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立	コロナ禍を踏まえての近江米、近江牛、湖魚等の需要拡大の推進	P 19
3.社会	(1)生活や産業を支える強靱な社会インフラの整備、維持管理	コロナ禍を踏まえたインフラ整備の推進 D Xの推進	P 22

政策		主な見直しの内容	ページ
3. 社会	(2)コンパクトで移動や交流しやすい交通まちづくり	大きな影響を受けた公共交通を維持するための取組の推進	P 23
	(3)暮らしを支える地域づくり	分散型社会への転換を見据えた「選ばれる滋賀」への取組の推進	P 25～ P 26
	(4)安全・安心の社会づくり	感染症拡大防止に配慮した避難所運営の推進 オンライン化の進展に伴うサイバー犯罪への対応	P 28
	(5)農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承	田園回帰への関心向上を捉えた農山漁村の活性化	P 30
	(6)多様性を認め、互いに支え合う共生社会の実現	外国人県民への支援体制の強化 より大きな影響を受けている女性に対する支援強化	P 33
	4. 環境	(1)琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用	自然環境の重要性の再認識
(2)気候変動への対応と環境負荷の低減		コロナ禍を経た行動変容を踏まえたCO ₂ ネットゼロの推進	P 37
(3)持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力		地域循環型社会の実現に向けた取組の推進 環境技術等のオンラインを用いた国際的な発信	P 38～ P 39